

島田掛川信金が中小経営支援

掛川本店に相談ブース

島田掛川信用金庫は24日、中小企業経営者や小規模事業者、創業者を支援するため、掛川市の掛川本店に個別経営相談ブースを開設した。県よろず支援拠点と連携し、月1回程度、専門家による無料相談会を実施する。

ガラス窓で仕切られた4人テーブルの個室を2室用意。信金職員と支援拠点スタッフが

の竹内康博さんが相談に応じ、内容に応じ、他のスタッフを紹介する。支援拠点は情報発信、法務、ロボット導入など多彩な専門家をそろえた組織で、塚本晃弘チーフコディネーターは「信金の伴走型支援と私たちのスポット型支援を組み合わせ、ここに来れば何とかなる、という窓口にできれば」と話す。

初日の相談会には5組が訪れた。同信金は2021年度中に、JR掛川駅前に経営相談の拠点機能を置く複合ビルを建設する予定。相談ブースは経営相談強化のプレ活動と位置付ける。伊藤勝英理事は「複雑、多様化する経営者の課題にこえられるよう、実績を積み上げていきたい」と力を込めた。

(掛川支局・宮坂武司)



店舗内に開設した個別経営相談ブース
11月24日午前、掛川市の島田掛川信用金庫掛川本店